

社会保険未加入事業所 約80万社4月以降調査強化? 適正取引なしに企業存続は厳しくなる

【国税庁情報により】

今月二十三日の新聞などで大きく報道されています通り、社会保険未加入事業所への調査が強化されようとしています。

その背景は、社会保険適用事業所の要件を満たしながら、労働者に対する厚生年金等への加入を違法に逃れている疑いの強い中小零細企業が約80万社にのぼることが、厚生労働省が国税庁から情報提供を受けて行った調査で明らかになったためです。

厚生省と日本年金機構は今年の4月以降、指導に乗りだし、応じなければ立ち入り検査も実施した上で、強制的に加入させる方針を打ち出しました。社会保険の加入手続き漏れなどで厚生年金未加入労働者数は数百万人にのぼるようです。こうした現役引退後の国民の貧困を防ぐために、本格的な対策に乗り出すことになったようです。

【適用事業所とは】

厚生年金は原則として

て、フルタイムの従業員がいる法人の全事業所と、従業員5人以上の個人事業所に加入義務が対象となります。

ところが会社などの事業所が社会保険の加入手続きをせざるにいと、従業員は国民年金第一号被保険者の保険料(月1万5250円)を自分で納めなければなりません。当然、老後は基礎年金しか受け取れないこととなります。

【今後の動向】

国税庁は、従業員の所得税を給与天引きで

国に納めている法人事業所を約250万か所把握しており、このうち厚生年金に加入しているのは約170万事業所で残る約80万社の事業所は未加入事業所と試算。

厚生省は国税庁から所在地などの情報提供を受け、未加入事業所のリストアップを進め、4月からは日本年金機構が3年間かけて、新たな加入対策を行う方針を出しました。

今後は、日本年金機構が社会保険への加入

を指導します。

これに応じなければ、法的措置で強制加入をさせるとあり、かなり国は気合を入れていることが伺えます。

【ではどうすべきか】

建交労が組織する建設産業や運輸業などで働く労働者の多くは重層構造の中小零細企業で働いています。

社会保険に加入していない会社が社会保険に加入することによって、従業員一人にかかるコストは確実に増えます。労働人口が減り、ただでさえ人材確保が難しくなりつつあるハ

ンドル業界。

しかし、社会保険に加入したからといって、一方的に従業員の給与を下げられません。ゼネコンや大手企業によるピンハネをなく

し、適正な取引が実現しなければ会社は倒産に追い込まれてしまいます。

今こそ、雇用を守り

中小零細企業の経営を守るためには、適正な取引なしには倒産も他人事ではありません。ダンブでもトラック

でも適正運賃やその他の諸経費についても見

直しが必要不可欠となります。

社会保険料を納めても利益が残せるよう、今から対策を講じ万全に備える必要があります。

そのまま何も対策を講じなければ、確実に会社の利益は減ってしまい法人であれば個人であれダンブ業界は廃れ、トラック職場などでは雇用が不安定化となり、やがては会社倒産も真剣に考える時代となります。

労働運動で会社と雇用を守りましょう。

争闘委労地 議争日祥 次回で委員調査終了予定

平成二十五年七月二日に建交労栃木県本部と日祥運輸倉庫支部は、栃木県労働委員会(公益委員:蓬田勝美、労働者委員:小森肇氏、使用者委員:石塚洋史氏)へ不当労働行為救済を求め申立を行いました。あれから約一年半が経過しました。この間、延べ八回もの委員調査がありました。次回委員調査は、三月二十三日(月)午後二時からとなっています。前回の第八回委員調査の段階で、双方とも主張を出し切った状況となり、次回が最終委員調査になる予定です。これまで主張してきた争点は、格和組合員の解雇、団交拒否、配車差別、組合脱退懲罰、引き続き、大救済命令を勝ち取るまで奮闘します。



損保商品募集 ガイドライン策定 高齢者に対する保険募集 意欲確認の強化など改正

建交労栃木県本部は損保ジャパン日本興亜の代理店として、組合員を主に自動車保険から火災保険、傷害保険を取り扱っています。今年二月、金融庁より募集に当たってのガイドラインが改正されました。ここでいう「高齢者」とは、契約者年齢の保険始期日時時点で、満七十歳以上を指します。電話募集時でも、ご不明な点があれば何度も確認して頂ければと思います。

二〇一五年春闘要求書 一斉提出 2/19 回答日 3/3以降 3/25まで 進捗状況をFAXで報告を。 建交労中央行動 日時:三月四日 場所:衆議院第一会館 決起集会後、国会議員要請など各行動予定 松原・菅谷裁判 日時:三月十一日(木) 十一時から 場所:宇都宮地裁

三月七日(土)、原発ゼロ大行動の取り組みとして県総合文化センターで集会をし三時半から県庁前公園まちなかパレードを行います。ご家族や友人などでご参加を。